



第一礼拝次第

メッセージ：渡真利彦文牧師
 プレイズリード：郭永東牧師
 映像・音響：郭永東牧師

前奏			
頌栄	540	会衆	
主の祈り		会衆	
プレイズ	「主はぶどうの木」 「主の足もとに」	会衆	
聖書朗読	使徒言行録 10:9-20 16:6-10	司会	
祈禱	(新約聖書 p232.p245)	司会	
賛美	9「ちからの主を」	会衆	
メッセージ	「宣教の幻」	牧師	
祈禱		牧師	
賛美	新生557「幻を我に」	会衆	
献金祈禱			
報告		司会	
頌栄	新生672b		
祝禱		牧師	



第二礼拝次第

メッセージ：郭永東牧師
 司会：渡真利彦文牧師

聖書：ヨハネによる福音書 6:22-40
 (新約聖書 p175)

メッセージ：「イエスキリスト、命のパン」

プレイズ：「主の教えを喜びとし」

「主イエス神の愛」

賛美：新生586 新生460



ファミリー礼拝

メッセージ：渡真利彦文牧師
 司会：渡真利千佳子姉

聖書：使徒 9:1~19前半

メッセージ：「サウル、サウル」

<巻頭言>

「楽しみなことが待っている」

牧師 渡真利彦文

5月を迎えました。連休も楽しみですが、もっと待ち遠しいことは家族に感謝することではないでしょうか。5月—6月は家族の月といってよいでしょう。子どもの日、母の日、父の日などを祝います。家族にとって大切な方の存在を喜びます。

愛星幼稚園のお友だちは子どもの日のために、鯉のぼりをそれぞれのクラスで工夫を凝らして作成しました。母の日のためにも素敵な贈り物を用意しています。父の日はまだ先なのでプレゼントの作成の様子はまだ見られませんが、きっとお父さんたちも楽しみにしていることでしょう。新学期に入り、ひと月が過ぎました。私は時折、園庭やクラスを見て回りますが、子どもたちの成長ぶりには、とても驚いています。ある男の子はピアノが上手に弾くことができ、まるで小さなピアニストのようです。ある女の子はこれまでシャイで思うことをうまく話せなかったのですが、今ではいまだに口数は多くはないですが、はっきりと自信をもって話してくれます。他の子たちもそれぞれに成長しています。

人は誰でも周りから認められたいという強い願いを持っています。これは子どもに限ったことではありません。子どもたちの成長ぶりは、先生方が暖かく子どもたちを見守り、その個性を尊重し、認め励ましておられるからです。子どもは認められてだれでも成長するのです。大人である私たちも同様です。認められて成長するのです。

「私は植え、アポロは水を注いだ。しかし、成長させてくださったのは神です。」